

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤敏久	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 高崎経済大学経済学会において、「個人および組織間ネットワークの形成に関する研究・マーケティング・コミュニケーションの視角を意識して-」というテーマで研究発表した。</p> <p>この発表は、平成 25 年度、高崎経済大学特別研究助成金に採択されたテーマに基づいて、論文発表に至るまでの中途段階で行われたものである。</p> <p>マーケティングや消費者行動、マーケティング・コミュニケーションの分野にネットワーク概念を応用していく研究視角のもと、個人間や組織間のネットワーク形成を契機、進化、完成というプロセスとして捉えていこうという試みの一部である。</p> <p>特定の分野に限定せずに、先行研究をサーベイし、できるだけ広く、ネットワーク研究の現状をとらえることとともに、実務家を対象としたインタビュー調査を複数回行うことで、仮説導出における強化を狙うことに注力した。</p> <p>今後は、さらに精緻なサーベイなどの研究を加えて、定量的、定性的な研究へと発展させ、学術論文執筆へと進むことになる。</p> <p>(2) 執筆を行い、今後出版予定のもの</p> <ul style="list-style-type: none">・「第7章：ロジスティクス診断：第2節 サプライチェーン・マネジメントとロジスティクス診断」『経営診断学の理論と技法』、経営診断学会、同友館、分担執筆・「地域ブランドと消費者行動」『地域ブランドとマーケティング』複数名編著、同友館、分担執筆 <p>(3) 教育・ゼミ活動</p> <ul style="list-style-type: none">・2年次基礎演習段階でのゼミ合宿2年生夏休みの段階で、テキストレベルのマーケティングに関する知識取得を目的として、2泊3日で行われた。・3回(計6日程度)の「ゼミ勉強会」の実施土曜日あるいは日曜日に、ゼミ生各自が興味のある分野の本を、複数冊数担当し、すべてを咀嚼したうえで、皆の前でプレゼンするという訓練を複数回行っている。加えて、議論を行ったり、特定分野の知識を確認、吸収したりするために、ゼミ担当教員としてマーケティング・リサーチの特講も行った。・全国規模の学生参加型研究発表大会への参加決定3年次における参加が決定しており、ゼミ活動全体の中心となり、指導教員として深くコミットすることを要する大会である。	

今後とも、自身の研究を鋭意すすめることともに、履修した学生が興味を掻き立てられる講義を行うことを心がけながら、実務家の方々や地域経済などとも交流を図っていきたいと考える。

2 その他の事項